

魅力あるまちづくりのために

大規模な工事は届け出す必要があります

昨今、人々の価値観は、「物質的な豊かさ」から、「ゆとり、潤い、やすらぎ」といった「精神的な豊かさ」に重点を置く傾向が強まっています。このことは、「まちづくり」を進めるうえでも十分に配慮していく必要があります。

鳥取市には、日本一の鳥取砂丘、市民に親しまれている久松山、清らかな流れの千代川、豊かな水をたたえる湖山池、郊外に広がる田園風景などの豊かな自然景観、また、

鳥取城跡や社叢をはじめとする歴史的・文化的景観が各地に存在しています。

「まちづくり」を進めるにあたっては、将来にわたって市民・事業者・市が一体となり、これら自然や歴史的・文化的景観を守るとともに、周辺の景観に配慮した新たな景観の創造に努めることが重要です。

鳥取市は、昨年十二月、ゆとりと潤いのある美しく魅力あるまちを作っていくことを目的として景観形成条例を制

大規模行為景観形成基準（主なもの）

基本理念		大規模行為は、地域の個性および特性を尊重しながら、周辺の景観との調和に配慮し、優れた景観の形成を図るよう行わなければならない。	
共通事項	位置	ア 景観形成上重要な山、海岸、河川、湖沼、歴史的資産、町並みなどに対する周辺および主要な展望地からの眺望をできる限り妨げないよう配慮した位置とすること。	
		イ 道路、公園などの公共の場所（以下「道路など」という。）に接する場合には、その境界線からできる限り後退した位置とすること。	
		ウ 尾根の近くにあっては、稜線を乱さないよう、できる限り低い位置とすること。	
	エ 敷地内に良好な景観を形成している樹木、樹林、建築物などがある場合には、その現状をできる限り変えない位置とすること。		
規模		周辺の景観にできる限り影響を与えない規模とすること。	
その他		行為の期間中は、敷地周辺の緑化や工事用の塀などによる修景に工夫するとともに、周辺からの遮へいに配慮すること。	
大規模建築物などの新築、増築、改築、移転または外観の変更に關する事項	外観	ア 意匠および形態 (ア) 建築物などは、周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある意匠および形態とすること。 (イ) 複数の建築物などを設ける場合には、それらの間の調和に配慮すること。 (ウ) 壁面設備、屋上設備などは、できる限り露出させないようにするとともに、やむを得ず露出させる場合には、建築物など本体および周辺の景観との調和に配慮した意匠および形態とすること。 (エ) 建築物などに設置する広告塔および広告板は、大きさおよび設置数を必要最小限にとどめるとともに、建築物など本体および周辺の景観との調和に配慮した意匠および形態とすること。	
		イ 色彩 (ア) できる限り落ち着いた色彩を基調とし、周辺の景観との調和に配慮すること。 (イ) 壁面設備、屋上設備などの色彩は、建築物など本体および周辺の景観との調和に配慮したものとすること。	
		ウ 素材 (ア) 周辺の景観との調和に配慮した素材を使用すること。 (イ) 地域の特徴を醸し出す優れた素材の活用に配慮すること。 (ウ) 外壁などの材質は、できる限り耐久性に優れ、維持管理の容易なものとすること。	
		敷地の緑化	ア 敷地は、できる限り多くの部分を緑化すること。 イ 植栽については、周辺の既存の植生との調和、自然植生の活用、季節感の醸成などに配慮すること。 ウ 建築物などが周辺に与える圧迫感を和らげるよう、その高さを勘案して樹木を選び、その植栽位置を考慮すること。
		方法	物品を積み上げる場合には、高さをできる限り低くするとともに、整然と、かつ、威圧感のないように行うこと。
	遮へい	主要な展望地および道路などから集積または貯蔵されている物品ができる限り見えないように遮へいし、その際には、植栽などにより周辺の景観と調和するよう工夫すること。	